

8 / 24 (木) の行事

報道発表資料の配付日時 8月10日 (木) 15時00分

発表項目 (行事名)	道北地域(上川) 教育旅行受入推進セミナー		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<p>道では、都市と農村の交流を通して、農村地域の理解促進及び関係人口の増加を図るため、教育旅行の受入を推進していますが、新型コロナウイルス感染症まん延の影響を受け、旅行需要が落ち込んだことから受入意欲低下による受入農林漁業者等の減少が課題となっています。</p> <p>このため、農林漁業者等の受入意欲向上や、広域的な連携による受入体制の強化など、教育旅行の更なる受入推進を目的として、道北地域において標記セミナーを開催しますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時：令和5年8月24日(木) 13:00～15:30</p> <p>2 場所：名寄市民文化センター 大会議室A (名寄市西13条南4丁目)</p> <p>3 主催：北海道農政部農村振興局農村設計課</p> <p>4 プログラム(予定)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関から講演 ○ 地域コーディネーターから講演 ○ 道北地域へ教育旅行に来た静岡県の高校教師へインタビュー ○ 受入農家(実践者)から取組事例紹介 <p>5 申込方法：次の①～③のうち、いずれかの方法でお申し込みください</p> <p>① URLにアクセスして申し込む ■ URL → https://www.harplg.jp/VL9CC3mz</p> <p>② QRコードにアクセスして申し込む → </p> <p>③ FAXで申し込む ■ FAX番号 → 011-232-0027 ■ QRコード</p> <p>6 申込期限：令和5年(2023年)8月21日(月)</p>		
参考	・別添「チラシ」参照		
報道(取材)に当たってのお願い	受入実践者や都市と農村の交流に興味のある方、関係機関にぜひ参加していただきたいので積極的な報道・取材をお願いするとともに、当日の報道・取材もあわせてお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 (場所) 道政記者クラブ 同時レク		
担当(連絡先)	上川総合振興局産業振興部農務課 (杉村) 電話 0166-46-5134(内線2700)		

道北地域 教育旅行受入推進セミナー

参加費
無料

～地域みんなで協力し、教育旅行受入でファンづくり！～

～縁をつなぎ、笑顔をつなぎ、未来へつなぐ！交流を促進し地域活性化！～

目的

道では、都市と農村の交流を通して、農村地域の理解促進及び関係人口の増加を図るため、教育旅行の受入を推進しています。新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)まん延の影響により、旅行者の受入人数が大きく減少していましたが、令和5年5月からコロナの感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられ、今後、教育旅行需要の増加が想定されます。

しかし、コロナの影響を受け、旅行需要が落ち込んだことから、受入意欲低下による受入農林漁業者等の減少や、それに伴う受入キャパシティの不足が課題となっています。

このことから、受入農林漁業者等の意欲向上や、広域的な連携による受入キャパシティの増加を図り、教育旅行の更なる受入を推進することを目的として、道北地域において「道北地域教育旅行受入推進セミナー」を開催します。

初めての農林漁業体験は、
楽しかったヨ！
この地域、大好き！
何度でも来たい！
1次産業の仕事に、将来
働きたくなったヨ！



受入して、
本地域や第1
次産業の魅力
を伝えたい！



日時・場所

令和5年8月24日(木) 13:00～15:30(受付12:30～)
名寄市民文化センター 大会議室A(名寄市西13条南4丁目)

参加対象

農林漁業者、農協、漁協、市町村、農業委員会、観光協会、
商工会議所、商工会、関係機関、都市と農村の交流に興味ある方等

主催

北海道農政部農村振興局農村設計課

プログラム(予定)

1 開会・挨拶

2 関係機関から講演

「教育旅行受入は何のためにする！？ファンをつくるために、それぞれの立場で何ができるか！」(講師：浜頓別町 農業委員会委員 小川 文夫氏)

3 地域コーディネーターから講演

「教育旅行の現状と地域ぐるみによる教育旅行受入！
～受入の実施方法と、道北地域の広域による受入の取組を紹介～」
(講師：(有)アグリテック 代表取締役 中田 浩康氏)

4 道北地域へ教育旅行に来た先生へインタビュー

「道北地域を選んだ理由と、体験・農家民泊した感想について」
(聖隷クリストファー高校(静岡県) 教員 清水 憲氏)

5 受入農家(実践者)から取組事例紹介

「教育旅行受入で何を伝える！？受入のやりがいと実際に受入した効果について」

- ・取組紹介① 宗万農場 宗万 広美氏(名寄市)
- ・取組紹介② 古屋農園 古屋 勝氏(旭川市)

6 質疑応答・情報提供



参加費
無料

参加申込(申込期限:8月21日(月))はこちら



申込期限 申込み期限：令和5年（2023年）8月21日（月）

申込方法 申込みは、次の①～③のうちの方法かでお申込みください

①  URLにてアクセスして申込み → <https://www.harp.lg.jp/VL9CC3mz>

②  申込みQRコードにアクセスして申込み 



③  FAXでの申込みは、次の各欄に記載しFAX願います

FAXでの参加申込み記入用紙（FAX申込先：011-232-0027）

参加者氏名		電話番号	
職業・お勤め先を記載してください		お住まいの市町村名	

農村地域では、人口減少や高齢化の進行などにより、地域の活力低下が懸念されている中、**教育旅行の受入**は、**農村活性化**をするための**手法の1つ**です！



地域ぐるみで、教育旅行を受入れ！

むらわが農山漁村を知ってもらい、好きになってもらうため、地域ぐるみでファンづくり！



むらわが農山漁村



地元特産品



地域ぐるみで魅力発信

地域資源を再発見！



(例) 農協・漁協の各施設の案内で、特産物の理解の促進

生産現場で農業・漁業の体験！



生産者からの話を聞きながら、実体験！

期待される効果

自分の地域や自分の仕事の魅力を再発見！
→よそものの視点

地域の応援団に！
→リピーター、通信販売やふるさと納税で応援

地域経済の活性化！
→新たな雇用の創出

将来の地域・産業の担い手に！